

熊本県
国立大学法人
熊本大学医学部附属病院 様



導入システム PHS患者呼出システム(表示システム連携)

Introduction

熊本大学医学部附属病院様は、「高度先進医療の充実」「地域医療の中心的役割」「医療スタッフの育成、研究・開発の推進」を理念として再開発整備を行っており、これまでに平成14年に西病棟、平成18年に中央診療棟、平成22年に東病棟、平成26年9月に新外来診療棟を完成されました。

Solution

熊本大学医学部附属病院様は患者サービスにも力を入れられており、PHS患者呼出システムの他に、希望する患者様には受診票のQRコードを利用して携帯やスマホに診察順番を案内するシステムなどを導入されました。

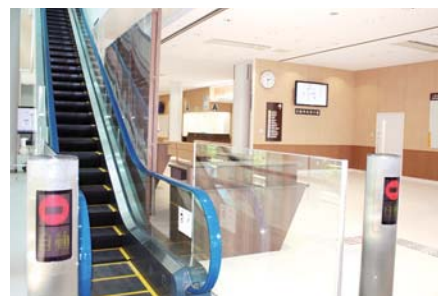
当患者呼出システムは診察順番表示システムと連携することにより、自動で呼び出しを行うシステムになっております。また、院内の通話用PHS無線のインフラを使うことにより導入時のコストダウンに貢献させて頂きました。



診察状況表示パネルと連動



外来診療棟の総合受付前



外来診療棟内の様子



呼出受信機専用皮ケース



PHS呼出受信機は450台納入



各ブロック受付に充電器と受信端末を配置